

第2号様式（第3関係）

平成22年度第1回豊山町文化財保護審議会会議録

- 1 開催日時 平成23年2月18日（金）午前10時00分から
- 2 開催場所 社会教育センター2階 研修室1
- 3 出席者 豊山町文化財保護審議会委員
（役職及び氏名） 会 長：小塚俊信
委 員：岡田洋司、坪井勝人、山縣正英、岡本郁子、小出 明
事務局：松田康朗教育長、早川晴男教育部長、柴田昌治課長
佐藤正司生涯学習係長
- 4 議題 (1) 豊山町の文化財保護行政について
(2) 郷土資料室の展示方法について
(3) その他
- 5 会議資料 ・豊山町の文化財保護行政について ～資料NO. 1～
・豊山町郷土資料室民具台帳（見本）
・書窓（郷土資料室のページ）
・文化財マップ
- 6 議事内容
（司 会） 本日は、お忙しい中、定刻までにご参集いただきありがとうございます。ただ今から、第1回豊山町文化財保護審議会を開催します。
それでは、最初に小塚会長よりあいさつをお願いいたします。
（会 長） 年のはじめ、立春も過ぎましたがまだまだ寒い日が続きます。皆さまにおかれましては大変お忙しい中、ご出席をいただきありがとうございます。昨今は、文化財に関します様々なニュースが聞かれ、国民の関心は年々高まっているように感じます。豊山町でも先回は平成21年8月に文化財保護審議会を開き、皆さんから様々なご意見をいただきました。本日は、それを基に進められた今日までの経過と新しい取り組み等について報告など2点をご審議いただきます。どうぞ宜しくお願いします。
（司 会） ありがとうございます。次に松田教育長があいさつを申し上げます。
（教育長） 本格的な春の息吹きを感じる時期となってきました。

昨年度の審議会では、文化財保護行政のあらまし、町指定文化財の追加指定、郷土資料室の展示方法の改善などに貴重なご意見をいただきありがとうございました。

私は教育長として文化財に対してこんな意識を持っています。町の歴史や文化を知ることが魅力ある地域社会を創造する力につながっていくことだと思います。そして、なかなか思うようにはいきませんが、郷土を愛し豊かな心を持った子どもたちを育てることが私たち大人の使命であると考えています。本日の文化財保護審議会は、先回の会議でいただいた宿題に対する取り組みなどを報告させていただきます。皆さま方の貴重なご意見をお願いいたします。

(司 会) ありがとうございました。議事に入る前に本日の資料確認をさせていただきます。

—配布資料の確認—

(司 会) それでは議事に移らせていただきますが、その前に審議会等の議事録についてお話をさせていただきます。「議事録作成に関する指針」により、住民の皆さんに委員として参加いただく審議会や委員会等の議事録が町のホームページに掲載されることになりました。本会もその対象となり、要旨を抜粋しての掲載となります。他の審議会等も同様に掲載され、どのような論議がされたかをお知らせしています。

議事内容をホームページに掲載させていただくことに承認いただけますでしょうか。

～「異議なし」の声あり～

ありがとうございました。それでは、これより議題の審議に入ります。ここからの取り回しは豊山町文化財保護条例第38条第2項に基づき、会長をお願いいたします。

(会 長) それでは、議事を進めさせていただきます。最初に、議題(1)「豊山町の文化財保護行政について」、事務局より説明させていただきます。

(事務局) (1)「豊山町の文化財保護行政について」

～資料NO.1に基づき説明～

(会 長) 事務局の説明が終わりました。今の説明について何かご質問、ご意見はありますか。

(委 員) きちんとまとめられています。大変ご苦労さまでした。最近、市町村合併などで文化財保護に関する予算や取り組みがないがしろにされる中で、文化財保護の意義をきちんと理解され、実践されているところは喜ばしいことだと思います。

(委 員) 郷土資料室の整備が7月から8月にかけて実施され、私も文化財研究会の一員として2日間参加しました。作業をする中で様々なことを学びましたし、文化財に関する興味があらためて湧いてきました。

- (委員) 資料室の整備で不用品の廃棄とありますが、どんなものを廃棄したのですか。
- (事務局) 収納場所に限りがありますので、主に農具関係の中で同じものがいくつもあるものについて、保存状態の良いものから数点を残し廃棄処分をしました。その際に、写真撮影、寄贈者の情報などを台帳に記録しました。
- (委員) どの資料館もそうですが、収納スペースの問題をかかえていますのでやむをえないと思います。
- (委員) 民具台帳は、1枚の台紙に写真があり、経緯、寄贈者、使用方法、年代などの情報が記載されているのが一般的です。台帳の見本は一覧表のようですが。
- (事務局) 今回、台帳としてデータベース化を行いました。従いまして1つの民具に対して1枚の形式ではありません。しかし、必要であれば台帳にデータを差し込むこと、写真をリンクして張り付けることは可能と考えます。今回は最低限必要なデータを入力したにすぎません。使用方法や年代まで調査が済んでいません。完全な形で整備するには、莫大な時間と労力を要しますので、必要であれば順次、追記していきたいと考えています。
- (委員) 民具の収集については、今後どのように考えていますか。
- (事務局) 今まで通り、随時収集してまいります。
- (委員) 民具台帳の情報ですが、時間が経過すると手がかりがなくなり調べられなくなるので、年代など今の段階で確定できるものは埋めておいた方がいいと思います。
- (事務局) できる限り努力します。
- (会長) 他に何かご意見や質問はありませんか。
無いようようですが、事務局から追加して説明することがあれば願います。
- (事務局) 先ほどは全般的な説明をさせていただきましたので、民具台帳について少し詳細に触れさせていただきます。作成にあたり当方には専門的な知識がありませんでしたので、県の文化財保護室に台帳の様式、写真の整理の仕方などを相談し、アドバイスをいただきました。作成には膨大な手間隙がかかるので、まず、限られた予算の中で期間内に最大限どこまで整備できるかを決め、全体の作業工程を作成しました。結果として、全ての収蔵品の点検・整理、不用品の廃棄、写真撮影、データベース化、収蔵庫の整理を優先しました。郷土資料室の整備については、当初は予定をしていませんでしたが、作業を進める中で、今、手をつけなければ当分の間はできないという決意のもと、汗を流しながら行いました。
議案(2)の説明に入ってしまったのですが、郷土資料室については、後ほど施設を見学していただく予定をしています。そのときに質問等がありましたらお聞かせ下さい。
- (委員) 小学生の授業で「昔の暮らしについて調べる」という単元があったと思います。そういった目的の利用は年間何回くらいあるのでしょうか。

(事務局) 回数でいうと年1回です。3年生の授業でご質問であったような見学を行っていますし、社会見学のついでに利用することもあります。その際に、文化財アドバイザーを配置し、解説できる体制をとっています。子どもたちの文化や歴史を伝えることは、郷土の愛を育むことにつながりますので、これからは小学校の先生方を取り込んで、もう少し踏み込んだことができるといいなと思っています。

(委員) 今年の1月の終わりに文化財研究会主催の文化財子ども広場を行いました。あまり大人数ではありませんでしたが、文化財アドバイザーに説明をいただきながら郷土資料室を見学しました。

(委員) 指定文化財は、今後、新たなものは出てくるのでしょうか。

(事務局) 現在のところ有形、無形とも該当するものはないと考えています。しかし、今後、所有者からの申し出等があれば随時検討する余地はあると考えます。

(委員) 個人的には、もう少し指定文化財があってもいいと思います。しかし、現実には厳密な基準も必要ですので難しいと考えます。

(事務局) 以前、町史を作るときにいくも候補があり、平成5年の文化財指定の際に、専門家に依頼して鑑定を行い、その中から一定の基準を満たしたものを指定したという経緯があります。これからの指定についてはそれが基準となります。また、所有者の中には、該当しそうな物があっても表に出したくないという方もいらっしゃいますので、その気のある方は既に申し出ていただいていると考えます。

(会長) ほかに質問やご意見はありませんか。何もなければ議案(1)「豊山町の文化財保護行政について」をご承認いただける方は拍手をお願いします。

(全員の拍手)

(会長) 議案(1)「豊山町の文化財保護行政について」は全員の拍手で承認されました。

次の議案(2)「郷土資料室の整備について」は既に説明をいただいておりますので、まずは郷土資料室の見学していただき、後ほどご意見を伺いたいと思います。

～郷土資料室の見学～

(会長) 皆さん、見学お疲れさまでした。

今、資料室を見ていただきましたので、感想などをお聞かせください。

(委員) 我々は、ああいう所に行くと懐かしいとか、歴史的な意味付けができますが、小学生は意味付けができません。全体を説明できるようなパンフレットのようなものがあればいいと思います。アドバイザーや現場の先生だけでは説明しきれないのではないのでしょうか。

- (委員) 町内を流れる大山川をテーマにした「魚」「漁」などに関する企画展を行ってはいかがでしょうか。
- (委員) 天井の汚れが気になりました。全体を暗いイメージにしている残念でした。
- (委員) 全体として展示物の解説が不足しています。簡単でよいので、どんな時に、どのように使うのかなどを説明する物を設置するとよいと思いました。また、古文書の保存には、湿気と嫌いますのでビニールではなく中性紙の袋に入れるとよいと思います。大きさは大、中、小があり、専門業者に言えば簡単の入手できるはずです。樟脳は年1回の頻度で交換してください。
- そのほか、収納箱をたくさん買って、種類ごとに細かく分類して収蔵したらよいと思いました。
- (委員) 古文書の中に県史の近世史部会が借りたものがありました。他の古文書の整理についてもそこに相談するといいアイデアがあるかもしれません。
- (会長) 皆さんから多くのご意見をいただきました。収納場所や予算の制約などの問題はあるとは思いますが、できる限り努力していただきたいと思っています。最後に、事務局から何かありますか。
- (事務局) まだまだ、至らないこと、反省することばかりでございます。皆様方からいただいた貴重なご意見を今後の参考にさせていただきます。
- (会長) 2つの議案は以上です。「その他」は何かありますか。
- (事務局) 特にありません。
- (会長) ありがとうございます。皆様の活発なご審議によりまして、意義深い審議会となりました。皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。
- (司会) 会長さま、取り回しありがとうございました。
- 本日は長時間にわたり、ご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。これをもちまして、第1回豊山町文化財保護審議会を閉じさせていただきます。気をつけてお帰りください。

上記のとおり平成22年度第1回豊山町文化財保護審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

平成23年2月28日

会長 小塚俊信
署名人 岡本郁子